

本陣が残る宿場町から 近江八景「矢橋の帰帆」へ

歴史 まちなみ

草津市観光物産協会 ☎077-566-3219 http://www.kanko-kusatsu.com/



草津市 草津駅・南草津駅

東海道と中山道が交差する宿場町から、湖畔沿いを歩きかつて琵琶湖の代表的な「渡港」や「渡し」として栄えた矢橋港跡へ。

モデルコース (約8.0km)

- 1 JR草津駅 8分
- 2 追分道標 1分
- 3 史跡草津宿本陣 4分
- 4 草津宿街道交流館 5分
- 5 立木神社 10分
- 6 矢倉道標 7分
- 7 若宮八幡宮 16分
- 8 猿田彦神社 15分
- 9 芦浦道道標 9分
- 10 鞭寄八幡宮 6分
- 11 矢橋港跡 40分
- 12 JR南草津駅

- 寺院
- 神社
- 博物館など
- 碑
- 学校
- トイレ
- 郵便局
- 観光案内所

2 追分道標

東海道と中山道との分岐点に立つ道標は、飛脚など、この街道を常に往来する人々の寄進によって建てられたと伝えられ、往時の賑わいの面影を残しています。



3 史跡草津宿本陣

現存するものとしては全国最大級の本陣。関札や、吉良上野介などの名前も残っている大福帳(宿帳)など、貴重な資料が数多く保存されています。



4 草津宿街道交流館

東海道と中山道の分岐点であった草津の、宿場町の歴史がわかる資料館。町の復元模型や浮世絵などの資料を展示しています。



9 芦浦道道標

「山田あしうら道」「あなむら道」と刻字され、矢橋から山田、穴村、芦浦、金森(現守山市)を経て守山宿に達する古道の起点でした。



10 鞭寄八幡宮

社名は、源頼朝が馬上から鞭をもって神名を尋ねたことに由来。重要文化財に指定される表門は旧膳所城の南大手門を移築したものです。



5 立木神社

創建は神護景雲元年(767)と伝えられ、境内には県内最古の石造道標(旧追分道標)が移築されています。



7 若宮八幡宮

応神天皇を祭神とし、社殿は古墳時代後期の古墳の上にあります。



6 矢倉道標

「右 やばせみち」と刻まれたこの道標は、東海道と矢橋道の分岐点にあった焼ヶ餅屋の軒下に建てられたもので、東海道を往来する旅人を矢橋の渡しに導きました。



8 猿田彦神社

大津への近道として旅人の往来で賑わった矢橋道沿いの神社にふさわしく、道の神猿田彦を祭神としています。



11 矢橋港跡

矢橋港は近江八景「矢橋帰帆」として有名でした。現在は、発掘された三本の石積突堤一帯が公園となっています。

